

# KENWOOD

インテグレートッドアンプリファイア

## KA-NA9

### 取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

・もくじは2ページにあります。

**MP3/WMA  
WAV/FLAC**



**Bluetooth®**

**K2  
TECHNOLOGY**



**Qualcomm®  
aptX™**

株式会社 JVCケンウッド

JVCKENWOOD Corporation



**ユーザー登録  
のおすすめ**

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My-Kenwood) をお願いしています。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。



● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<https://jp.my-kenwood.com>



TINSJA327AWZZ

B5A-2783-10

# もくじ

はじめに .....	4
本機を楽しむには .....	4
本機を設置するときは .....	7
準備する .....	8
付属品を確認する .....	8
リモコンを準備する .....	9
各部の名称 .....	12
リモコン .....	12
本体前面 .....	14
本体上面 .....	16
本体背面 .....	17
接続する .....	18
スピーカーを接続する .....	18
AC アダプターを接続する .....	20
ヘッドホンを接続する .....	21
基本操作 .....	22
電源を入れる／切る .....	22
スタンバイモードを切り換える .....	23
いろいろなソース(音源)を聴く .....	24
BLUETOOTH 機器を聴く .....	26
NFC について .....	26
NFC で BLUETOOTH 機器を接続する .....	27
手動で BLUETOOTH 機器を接続する .....	29
BLUETOOTH 機器の基本操作 .....	31
接続を解除する .....	32
電波について .....	34
USB メモリーを聴く .....	36
USB メモリーを接続する .....	36
USB メモリーの基本操作 .....	37
リピート再生をする .....	40

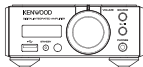
<b>外部機器を聴く</b> .....	<b>42</b>
外部機器を接続する .....	42
外部機器を聴く .....	43
<b>パソコンのオーディオファイルを聴く</b> .....	<b>44</b>
ドライバーをインストールする .....	44
パソコンを接続してオーディオファイルを聴く .....	50
<b>スリープタイマーを使う</b> .....	<b>52</b>
スリープタイマーを設定する .....	52
残り時間を確認する .....	52
<b>オートパワーセーブ(節電機能)を使う</b> .....	<b>53</b>
オートパワーセーブ(節電機能)を設定する .....	53
<b>音質や表示の設定を変える</b> .....	<b>54</b>
再生音質を高める(「K2」機能) .....	54
好みの音質に設定する .....	55
表示される情報を変える .....	55
<b>その他の情報</b> .....	<b>56</b>
使用できる BLUETOOTH 機器 .....	56
USB メモリーのご注意 .....	56
MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルのご注意 .....	56
ファイルの再生順について .....	58
商標 .....	59
<b>故障かな?と思ったら</b> .....	<b>60</b>
<b>主な仕様</b> .....	<b>64</b>
<b>保証とアフターサービス</b> .....	<b>68</b>
<b>無料修理規定</b> .....	<b>70</b>

# はじめに

## 本機を楽しむには

音声を楽しむために準備しましょう

スピーカーと接続しましょう (p. 18)

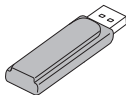


いろいろなソース(音源)を聴きましょう

BLUETOOTH 機器 (p. 26)



USB メモリー (p. 36)



デジタルオーディオプレーヤー  
などの外部機器(p. 42)



パソコン(p. 44)



### 本書のボタン表記について

- 本書では、特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

### 本書のその他の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3 / WMA / WAV / FLAC の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」は同じ意味で使っています。

この製品の機種銘板は本体の底面にあります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2通りあります。

### **ボタンを短めに押す:**

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調整して数回試してみてください。



### **ボタンを長めに押す:**

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。

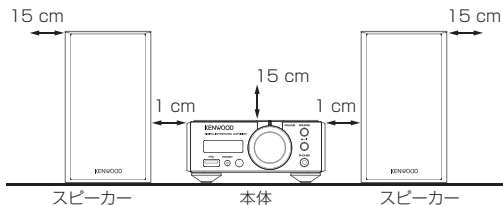


## 本機を設置するときは

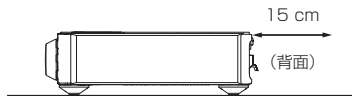
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

### 正面



### 側面



### ご注意

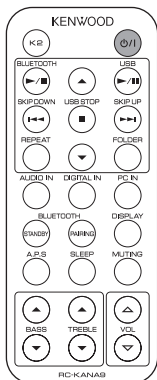
- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

# 準備する

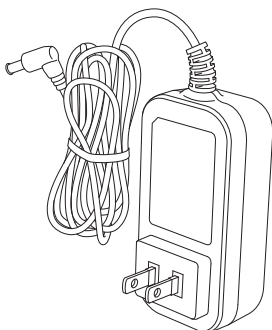
## 付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

リモコン RC-KANA9 (1個)



ACアダプター  
AA-RA1201 (1個)





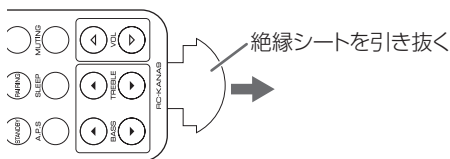
## リモコンを準備する

### ⚠ ご注意

電池を飲み込むと、化学やけどの危険性があります。

- 本機の付属リモコンはボタン電池を使用しています。ボタン電池を飲み込むと、わずか2時間で深刻な内部やけどを引き起こし、死亡につながる可能性があります。
- ボタン電池は小さなお子様の手の届かないところに保管してください。もし電池カバーの破損などで小さなお子様ボタン電池に触れてしまう可能性がある場合は、製品（リモコン）の使用を中止してください。
- ボタン電池を飲み込んだり、体内に入り込んだりした可能性がある場合は、すぐに医師と相談してください。

初めてリモコンを使用するときは、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

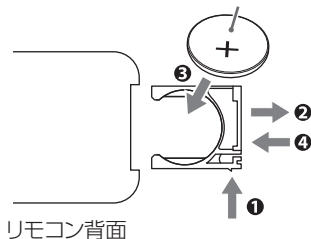


## 電池を交換する

操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

電池の+と-の向きを正しく入れてください。

リチウム電池(CR2025)

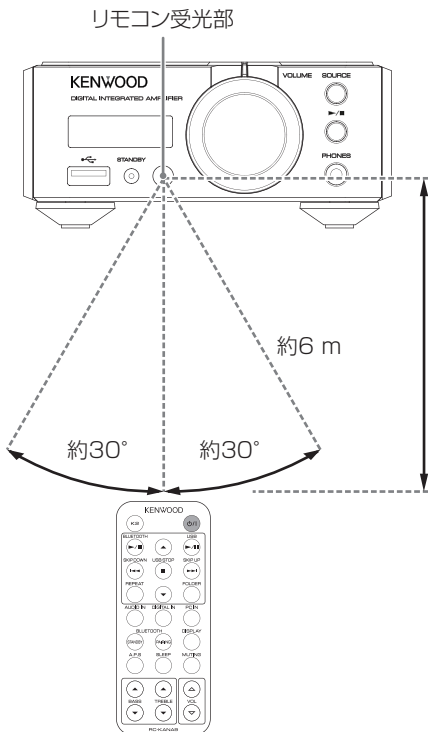


### お知らせ

#### 付属の電池について

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお使いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、お住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落したりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

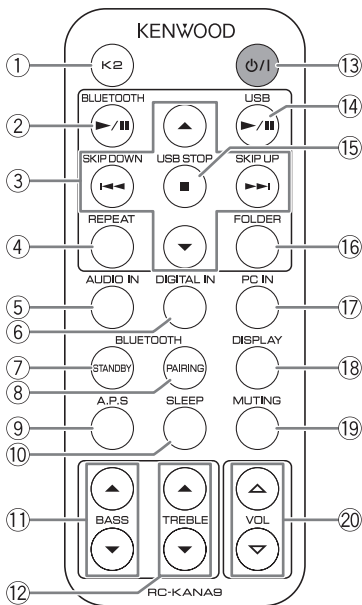
## 操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

# 各部の名称

## リモコン



### ① [K2]ボタン

[K2]機能のオン・オフを切り換えます。

### ② ▶/|| (BLUETOOTH)ボタン

BLUETOOTH 機器の再生 / 一時停止をします。

### ③ 選択ボタン

- ◀◀ (SKIP DOWN) / ▶▶ (SKIP UP) ボタン

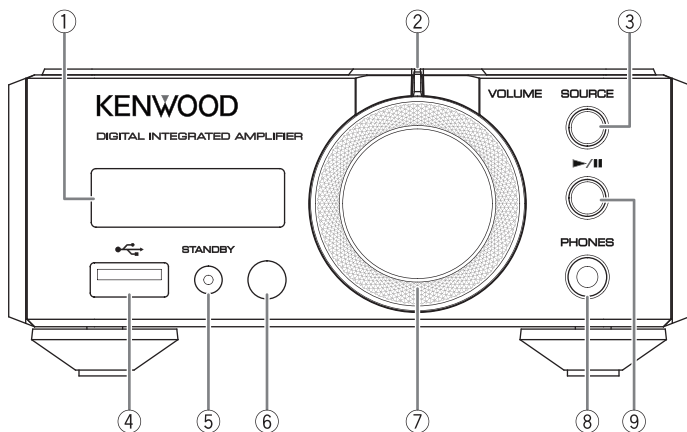
曲をスキップします。押し続けると曲を早送り、早戻しします。

- ▲ / ▼ ボタン

フォルダーを選びます。

- ④ **REPEAT ボタン**  
リピート再生をします。
- ⑤ **AUDIO IN ボタン**  
外部機器接続(アナログ音声入力)に切り換えます。
- ⑥ **DIGITAL IN ボタン**  
外部機器接続(光デジタル入力)に切り換えます。
- ⑦ **STANDBY(BLUETOOTH)ボタン**  
本機の電源が切れているときに押すと、スタンバイモードを切り換えます。
- ⑧ **PAIRING(BLUETOOTH)ボタン**  
ペアリングモードに切り換えます。
- ⑨ **A.P.S ボタン**  
オートパワーセーブ(節電機能)のオン・オフを切り換えます。
- ⑩ **SLEEP ボタン**  
スリープタイマーを設定します。
- ⑪ **▲/▼(BASS)ボタン**  
低音の音質を調整します。
- ⑫ **▲/▼(TREBLE)ボタン**  
高音の音質を調整します。
- ⑬ **⏻/⏻(電源)ボタン**  
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。
- ⑭ **▶/⏸(USB)ボタン**  
USBメモリーの再生/一時停止をします。
- ⑮ **■(USB STOP)ボタン**  
USBメモリーの再生を停止します。
- ⑯ **FOLDER ボタン**  
フォルダーモードに切り換えます。
- ⑰ **PC IN ボタン**  
パソコン接続に切り換えます。
- ⑱ **DISPLAY ボタン**  
表示部の表示内容を切り換えます。
- ⑲ **MUTING ボタン**  
音量を一時的に消音します。
- ⑳ **△/▽(VOL)ボタン**  
音量を調整します。△ボタンを押すと音量が上がり、▽ボタンを押すと音量が下がります。

## 本体前面



## ① 表示部

本機の状態が表示されます。

## ② パワーインジケーター

電源を入れたときに、赤色に点灯します。

## ③ SOURCE ボタン

ソース(音源)を切り換えます。

## ④ USB 端子

USB メモリーを接続します。

## ⑤ STANDBY インジケーター

BLUETOOTH スタンバイのときは白色に、ノーマルスタンバイのときは赤色に点灯します。いずれの場合も、表示部は消灯します。

電源が入っているとき、ソース(音源)が BLUETOOTH の場合も白色に点灯します。

## ⑥ リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

## ⑦ VOLUME つまみ

音量を調整します。右に回すと音量が上がります、左に回すと音量が下がります。

## ⑧ PHONES 端子(ヘッドホン端子)

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

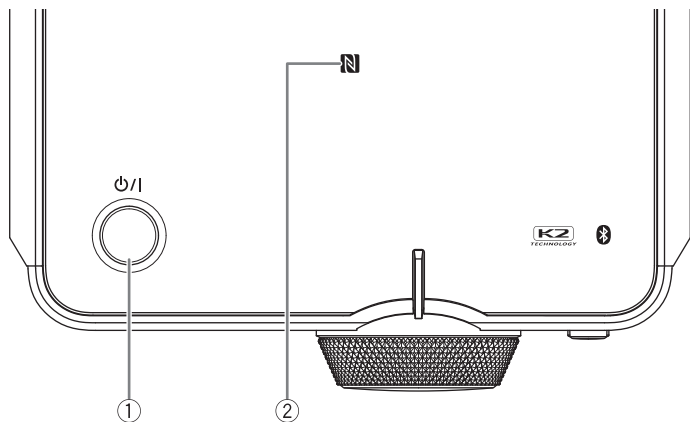
## ⑨ ▶/|| (再生/一時停止) ボタン

BLUETOOTH 機器 / USB メモリーの再生 / 一時停止をします。

## お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)でも、少量の電力を消費します。

## 本体上面



### ① ⏻ (電源)ボタン

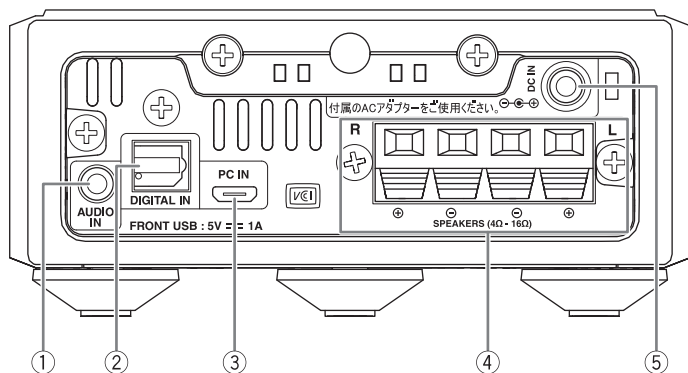
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。

### ② N マーク(NFC アンテナ)

BLUETOOTH 接続に使用します。



## 本体背面



### ① AUDIO IN 端子

アナログ音声出力端子がある外部機器を、音声ケーブル(市販品)を使用して接続します。

### ② DIGITAL IN 端子(OPTICAL 入力端子)

光デジタル出力端子がある外部機器を、光デジタルケーブル(市販品)を使用して接続します。

### ③ PC IN 端子(マイクロ USB 端子)

USB 端子を搭載した Windows パソコン(Windows® 7 / 8 / 8.1 / 10)または、Macintosh(Mac OSX 10.9 / 10.10 / 10.11, mac OS 10.12 / 10.13)を、マイクロ USB ケーブル(市販品)を使用して接続します。

### ④ SPEAKERS(4Ω・16Ω)端子

スピーカー(別売)を、スピーカーコードを使用して接続します。

### ⑤ DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

# 接続する

## ご注意

- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

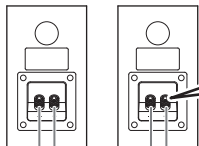
## スピーカーを接続する

## ご注意

- イラストは接続の一例です。イラスト以外のスピーカー端子やスピーカーコードでも接続できます。
- 推奨品(LS-NA9)以外一般的なスピーカーも使用できます。スピーカーインピーダンスが  $4\ \Omega$  から  $16\ \Omega$  のスピーカーをお使いください。
- 店舗などの天井等に設置しているハイインピーダンスタイプのスピーカーには対応していません。お使いのスピーカーの仕様をご確認ください。
- 1つの端子に2つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードを強く押し込みすぎて、ビニールの被覆を端子の中に入れないようにしてください。
- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。

## KENWOOD製スピーカー LS-NA9との接続例

右側スピーカー (別売) 背面  
左側スピーカー (別売) 背面



ライン入り    ラインなし    スピーカーコード(別売)

+

スピーカーコードの接続は、本体とスピーカーの極性(プラス同士とマイナス同士)を合わせて接続してください。

### スピーカーへのスピーカーコードの接続

- ① ねじを回して
  - ② 芯線をまっすぐ
  - ③ ねじを締める
- 端子を開ける    挿入する

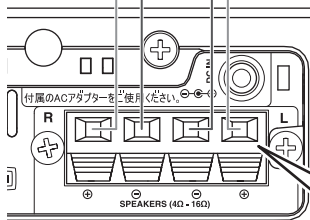


### 本体へのスピーカーコードの接続

- ① 強く押す
  - ② 押したまま芯線を
  - ③ 指を離す
- 挿入する



芯線が1~2mm見える程度まで差し込んでください。  
ビニールの被覆まで差し込んでしまうと、音が出ません。

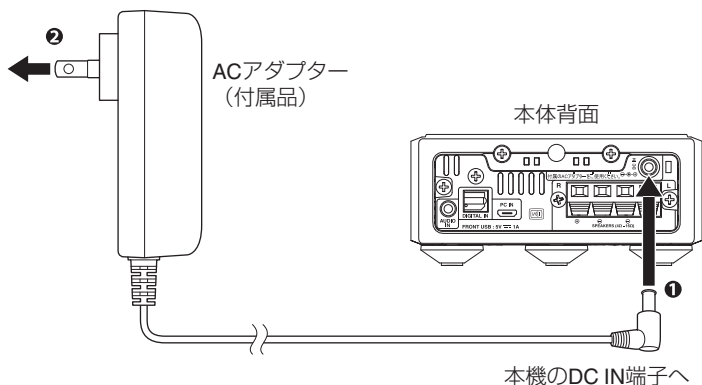


本体背面

## ACアダプターを接続する

付属の AC アダプターを本機の DC IN 端子に接続してから、コンセントに差し込んでください。

コンセントへ



- コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 本機は AC アダプターを接続したときに、システムを初期化します。そのため、接続後数秒間は、本機を操作することができません。

### お知らせ

- 出かけるときや長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

## ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを装着する前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

### お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の3極タイプ・ステレオミニプラグのヘッドホンをお使いください。



# 基本操作

## 電源を入れる／切る

リモコン



本体



パワーインジケーターが赤色に点灯します。

### お知らせ

- ・ 各ソース(音源)ボタンを押して電源を入れることもできます。

## スタンバイモードを切り換える

本機では、2種類のスタンバイモードを設定できます。

**本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に**



(くり返し押す)

- **BLUETOOTH スタンバイモード:**  
STANDBY インジケーターが白色に点灯し、BLUETOOTH 機器と接続できます。
- **ノーマルスタンバイモード:**  
STANDBY インジケーターが赤色に点灯し、節電状態になります。  
BLUETOOTH 機器と接続できません。

## いろいろなソース(音源)を聴く

### 1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン

BLUETOOTH



USB



AUDIO IN



DIGITAL IN



PC IN



本体

SOURCE



(くり返し押す)

### 2 音量を調節する

リモコン

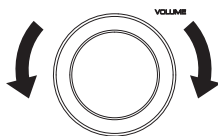


VOL



(くり返し押す)

本体



(回す)

- 調節範囲: 0 (Min) ~ 41 (Max)
- リモコンの[△/▽ (VOL)]ボタンを押し続けると、連続して変わります。



## 一時的に消音する

---



「×MUTING」と表示されます。

### お知らせ

- もう一度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。
- ソース(音源)を切り換えると、消音が解除されます。

# BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、NFC または手動のどちらかで、BLUETOOTH 機器と本機をペアリング(登録)してください。

## NFC について

NFC とは、近距離無線通信を行う技術です。

お使いの BLUETOOTH 機器が NFC に対応している場合は、本機にタッチするだけで、かんたんに BLUETOOTH 接続ができます。

お使いの機器が NFC による BLUETOOTH 接続に対応していない場合や、対応状況がご不明な場合は、手動で接続してください。(p. 29)

## Android 機器(スマートフォンなど)の NFC の有無を確認する

スマートフォンの「設定」から「その他の設定」をタップし、NFC 設定があることを確認してください。

### ご注意

- お使いの BLUETOOTH 機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。
- Android 機器では、NFC 対応のほか OS が Android 4.1 以降である必要があります。お使いの機器をご確認ください。
- おサイフケータイなどの機能に影響する場合がありますので、ご利用の NFC 決済アプリのホームページなどをご確認ください。

## NFCでBLUETOOTH機器を接続する

### 1 本機をBLUETOOTH受信状態にする

電源が切れているときは、BLUETOOTHスタンバイにしてください。(p. 23)  
電源が入っているときは、ソース(音源)をBLUETOOTHに切り換えてください。

### 2 相手機器の電源を入れ、NFCを有効にする

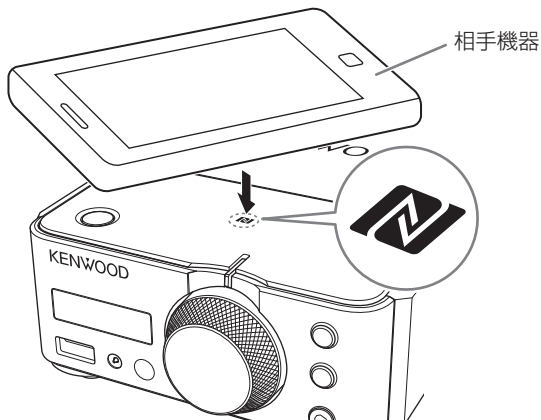
相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。  
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

#### Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

- ① 「設定」→「その他の設定」をタップする
- ② NFC 設定 → 「Reader/Writer, P2P」をオンにする

### 3 相手機器のNFCアンテナ部分を本機のNマークにタッチする

- ・ 近づけるだけでは作動しません。マークにタッチしてください。相手機器によっては、わずかなズレでも通信できず、ペアリングおよび接続ができないことがあります。
- ・ スマートフォンの画面に「BLUETOOTH 接続しますか？」などの表示が出た場合は、「はい」をタップしてください。



本機と相手機器がペアリング(登録)されます。  
接続が完了すると、「PAIRED」と表示された後に「B.TOOTH」と表示されます。

## 4 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。

リモコン



本体



- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

### お知らせ

- 接続が完了したら、相手機器を本機から離してください。相手機器を本機にタッチしたままにすると、接続が切れるなど不安定な状態になります。
- NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。  
それでも接続できないときは、手動で接続してください。(p. 29)

## 手動で BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

### 1 ソース(音源)を「B.TOOTH」に切り換える

リモコン

BLUETOOTH



本体

SOURCE



(くり返し押す)

### 2 ペアリングモードに切り換える

BLUETOOTH



(押し続ける)

3秒以上押し続けると、「PAIRING」表示が点滅を始めます。

### 3 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

#### **Android 機器(スマートフォンなど)の操作例**

- ①「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ②「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③「Bluetooth 設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

#### **iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例**

以下のいずれかの手順を参考にしてください。

「設定」→「Bluetooth」の順にタップする

または、

「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする

上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

## 4 相手機器で「KA-NA9」を選ぶ

iOS 機器 (iPhone/iPad/iPod touch) の画面例



ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。接続が完了すると、「PAIRED」と表示された後に「B.TOOTH」と表示されます。

- ペアリング中にパスキー（暗証番号）の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

## 5 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。

リモコン

BLUETOOTH



本体



- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

### お知らせ

- ソース（音源）を BLUETOOTH に切り換えると、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- 相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。

## BLUETOOTH 機器の基本操作

### 再生する

---

リモコン

BLUETOOTH



本体



### 一時停止する

---

リモコン

BLUETOOTH



本体



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

### 曲を選ぶ

---

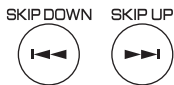
SKIP DOWN SKIP UP



(くり返し押す)

## 早戻し／早送りする

### 再生中に



(押し続ける)

通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

## 接続を解除する

### NFC で解除する場合

現在接続している相手機器の NFC アンテナ部分を本機の N マークにタッチします。

### 手動で解除する場合

相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにします。

### お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- 本機または相手機器の電源を切ったとき
- 他のソース(音源)に切り換えたとき



## 他の BLUETOOTH 機器を接続する

BLUETOOTH



(押し続ける)

「UNPAIRED」と約 2 秒間表示された後、「B.TOOTH」と表示されます。ペアリング待機状態になります。他の BLUETOOTH 機器を接続してください。

### ご注意

- BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されていません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止、選曲、早戻し/早送り)ができない場合があります。
- 電波状況によって音声途切れたり、詰まって聞こえたりする場合があります。本機または接続機器の設置位置を変更してください。
- 相手機器のイコライザ機能がオンになっていると、音声歪む場合がありますので、オフにしてください。

## 電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています(または、を受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解/改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

## 2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

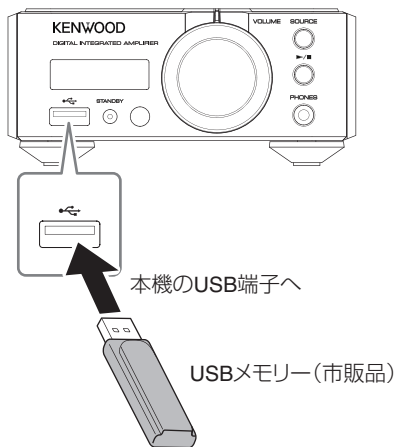
1 : 電波干渉距離は 10 m です。

□□□ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

# USB メモリーを聴く

## USB メモリーを接続する



接続すると、USB メモリー内にあるファイル数の合計と USB メモリー名が表示されます。

ファイル数の合計が 999 以上の場合は、実際のファイル数にかかわらず「999」と表示されます。

### ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルやファイルシステムが壊れて、USB メモリー内の音楽が再生できなくなる場合があります。
- iPod、iPhone、Android 端末、ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続(p. 26)または本機の AUDIO IN 端子に接続してください。(p. 42)

## USB メモリーの基本操作

### お知らせ

- USB メモリーへの録音はできません。

### 再生する

---

リモコン



本体

SOURCE



(くり返し押す)

ファイル名とファイルの種類が表示された後、再生時間が表示されます。  
再生時間が 999 分 59 秒よりも長い場合は、「---:xx」と表示されます。

### お知らせ

- 再生するファイルによっては、時間表示が規則的に進まないことがあります。

### 一時停止する

---

リモコン



本体



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

## 停止する

---

USB STOP



### お知らせ

- 停止後再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します(リジューム機能)。停止中にもう一度 [■] ボタン を押すと、リジューム機能は解除されます。

## 曲を選ぶ

---

SKIP DOWN SKIP UP



(くり返し押す)

## 早戻し／早送りする

---

### 再生中に

SKIP DOWN SKIP UP



(押し続ける)

## フォルダー番号とファイル番号から曲を選ぶ

### 1 フォルダー番号とファイル番号を表示する



フォルダーモードに切り換わります。

### 2 フォルダーとファイルを選ぶ



(くり返し押す)



(くり返し押す)

[▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイルを選びます。

### 3 再生する

再生中に曲を選んだ場合は、しばらくすると自動的に再生を始めます。

リモコン



本体



## リピート再生をする

### 1 リピートの種類を選ぶ 再生中または停止中に



(くり返し押す)

REP OFF : リピート再生を解除します。

REP 1 : 現在の曲をくり返します。

REP ALL : USB メモリーのすべての曲をくり返します。

### 2 (停止中のときは)再生する

リモコン



本体



#### お知らせ

- フォルダ内のリピート再生はできません。
- お買い上げ時の設定は「REP OFF」です。



## リピート再生を解除する

---

### 再生中または停止中に

「REP OFF」を選ぶ

REPEAT



(くり返し押す)

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース(音源)を変える
  - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす

# 外部機器を聴く

## 外部機器を接続する

お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

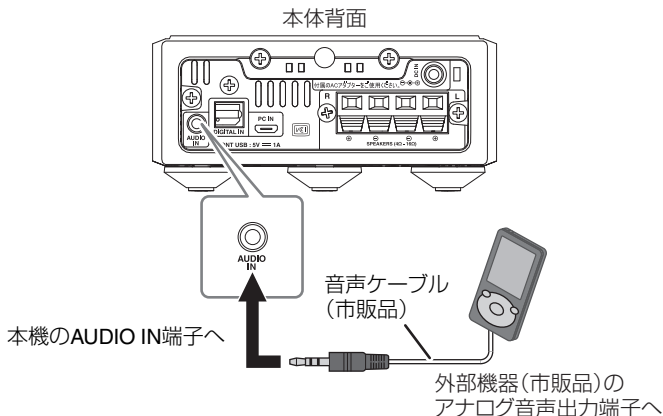
### ご注意

- 本機は PCM 信号のみに対応しています。本機の DIGITAL IN 端子に接続するときは、外部機器の光音声出力の設定を確認し、PCM 信号が出力されるように設定してください。

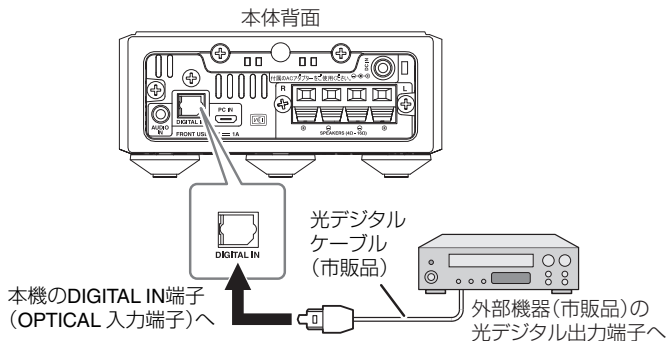
### 1 本機の音量を最小にする

### 2 本機に外部機器を接続する

- デジタルオーディオプレーヤーなどアナログ音声出力端子がある外部機器の場合は、本機の AUDIO IN 端子に、音声ケーブル(市販品)を使用して接続します。



- CD プレーヤーやパソコンなど光デジタル出力端子がある外部機器の場合は、本機の **DIGITAL IN** 端子 (OPTICAL 入力端子) に、光デジタルケーブル (市販品) を使用して接続します。



## お知らせ

- 本機で再生できる DIGITAL IN の信号は、PCM (32kHz~96kHz) です。

## 外部機器を聴く

### 1 ソース (音源) を切り換える

AUDIO IN 端子に外部機器を接続している場合は、「AUDIO IN」に切り換えます。DIGITAL IN 端子に外部機器を接続している場合は、「DIGITAL」に切り換えます。

リモコン

AUDIO IN



または

DIGITAL IN



本体

**SOURCE**



(くり返し押す)

### 2 外部機器を再生する

### 3 音量を調整する

# パソコンのオーディオファイルを聴く

USB 端子を搭載した Windows パソコン(Windows 7 / 8 / 8.1 / 10)または、Macintosh (Mac OSX 10.9 / 10.10 / 10.11, mac OS 10.12 / 10.13)を、マイクロ USB ケーブル(市販品)を使用して接続します。

## ご注意

- Windows パソコンに接続して音楽を再生する場合は、専用のドライバーソフトウェア(以下ドライバー)が必要です。初めて接続するときは、必ずドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
- Macintosh に接続して音楽を再生する場合は、ドライバーのインストールは不要です。

## ドライバーをインストールする

パソコンにドライバーをインストールします。

## ご注意

- ダウンロードページに記載されているドライバーインストールの詳細な手順を必ず確認してから、インストールしてください。

### 1 ドライバーをダウンロードする

以下のホームページにアクセスして、パソコンの任意の場所にドライバーをダウンロードしてください。ダウンロードには、別途通信料がかかります。  
<http://www.kenwood.com/jp/cs/audio/vup/ka-na9>

### 2 本体の電源を切る

リモコン

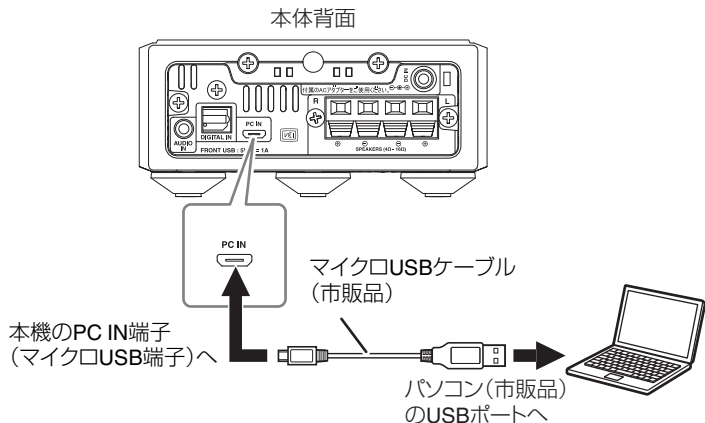


本体

電源



### 3 本機の PC IN 端子(マイクロ USB 端子)に、マイクロ USB ケーブル(市販品)を使用してパソコンを接続する



#### ご注意

- ・ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは、お使いいただけません。

### 4 本体の電源を入れる

リモコン



本体



## 5 ソース(音源)を「PC IN」に切り換える

リモコン



本体

SOURCE



(くり返し押す)

## 6 Windows の「デバイス マネージャー」を表示する

お使いの Windows OS によって、「デバイス マネージャー」の表示方法は異なります。

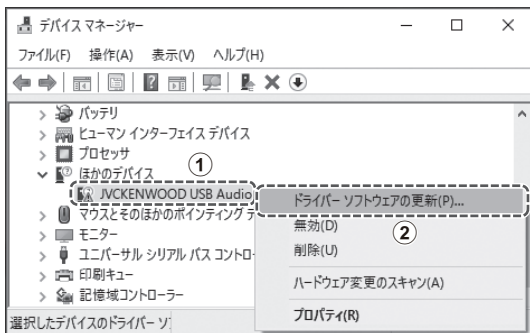
### Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 の場合

キーボードの Windows キーを押しながら [X] キーを押し、表示された一覧から [デバイス マネージャー] をクリックする

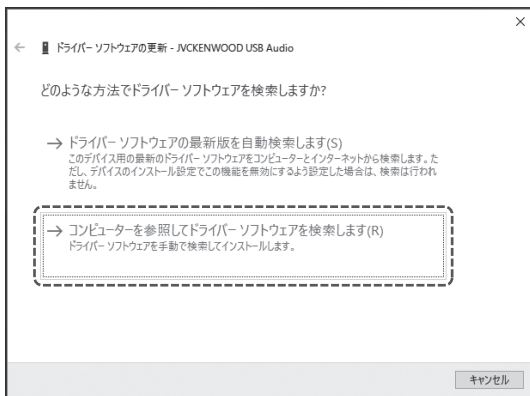
### Windows 7 の場合

- ① スタートメニューから [コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- ② 画面左側の [コントロール パネル ホーム] から [デバイス マネージャー] をクリックする

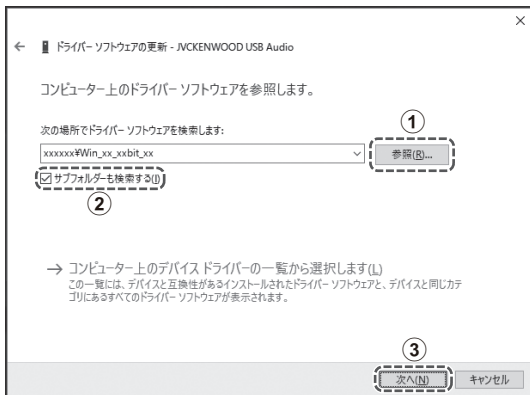
## 7 [JVCKENWOOD USB Audio] を右クリックし、[ドライバー ソフトウェアの更新] をクリックする



## 8 [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]をクリックする



## 9 ドライバーをダウンロードしたフォルダーを指定し、「サブフォルダーも検索する」にチェックを入れてから、「次へ」をクリックする



10 ドライバーのインストールを完了したら、[閉じる]をクリックする

11 Windows の「コントロール パネル」を表示する

お使いの Windows OS によって、「コントロール パネル」の表示方法は異なります。

#### **Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 の場合**

キーボードの Windows キーを押しながら [X] キーを押し、表示された一覧から [コントロール パネル] をクリックする

#### **Windows 7 の場合**

スタートメニューから [コントロール パネル] をクリックする

12 [ハードウェアとサウンド] をクリックする

13 [サウンド] をクリックし、[再生] タブをクリックする

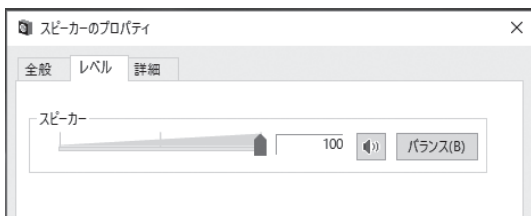
14 [スピーカー JVCKENWOOD USB Audio] を右クリックし、[既定のデバイスとして設定] をクリックする





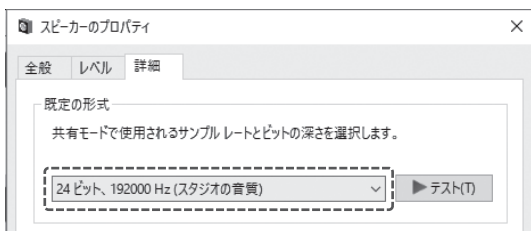
15 [スピーカー JVCKENWOOD USB Audio]をダブルクリックする

16 [レベル]タブでスピーカーの音量が最大値(100)になっていることを確認する



- ・スピーカーの音量の設定値が低いと、本機から音が聴こえなかったり、音量が小さくなったりすることがあります。

17 [詳細]タブでサンプルレートとビットの深さを選択する



18 パソコンの音楽再生ソフトを起動し、オーディオファイルを再生する  
本機から音が出ていることを確認してください。

## パソコンを接続してオーディオファイルを聴く

### ご注意

- パソコンのソフトウェアでオーディオファイルを再生中に、本機を取りはずさないでください。本機を接続または取りはずすときは、データの破損を避けるために、パソコンのソフトウェアを終了した後、本機の電源を切ってください。

### 1 本体の電源を切る

リモコン

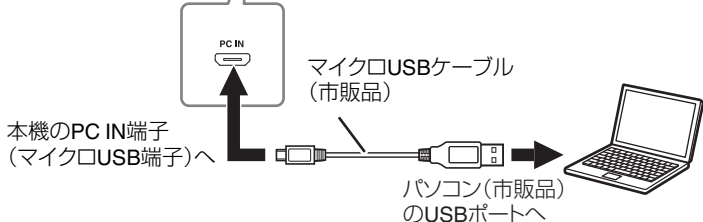
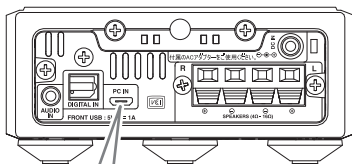


本体



- ### 2 本機の PC IN 端子(マイクロ USB 端子)に、マイクロ USB ケーブル(市販品)を使用してパソコンを接続する

本体背面



### 3 本体の電源を入れる

リモコン



本体



### 4 ソース(音源)を「PC IN」に切り換える

リモコン



本体



(くり返し押す)

### 5 パソコンの音楽再生ソフトを起動し、オーディオファイルを再生する

- ・オーディオファイルはパソコンで選びます。お使いのパソコンまたはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

#### お知らせ

- ・本機で音量を調整できます。
- ・本機は最大 192 kHz のサンプリング周波数に対応しています。また、最大 24 ビットのステレオ/モノラルデータを受信できます。
- ・本機の PC IN 端子(マイクロ USB 端子)は入力専用です。本機で再生される音をパソコンに録音することはできません。

# スリープタイマーを使う

## スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。



(くり返し押す)

押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。

SLEEP 90 → SLEEP 80 → SLEEP 70 → SLEEP 60 →

SLEEP 50 → SLEEP 40 → SLEEP 30 → SLEEP 20 →

SLEEP 10 → SLEEPOFF → (最初に戻る)

- ・スリープタイマーを解除するときは、「SLEEPOFF」を選んでください。

### お知らせ

- ・スリープタイマーの動作中は、オートパワーセーブ(p. 53)は無効です。

## 残り時間を確認する



残り時間を 5 秒間表示します。

# オートパワーセーブ（節電機能）を使う

オートパワーセーブとは、以下のいずれかの状態で約 15 分間何も操作しない場合、本機の電源が自動的に切れる機能です。

ソース(音源)	本機の状態(いずれかにて動作)
BLUETOOTH	・ BLUETOOTH 機器を接続していないとき ・ 音声入力がないとき
USB	・ USB メモリーを接続していないとき ・ 停止状態のとき
AUDIO IN	・ 外部機器を接続していないとき ・ 音声入力がないとき
DIGITAL IN	・ 外部機器を接続していないとき ・ 音声入力がないとき
PC IN	・ パソコンを接続していないとき ・ 音声入力がないとき

## お知らせ

- ・ 途中でボタン操作をした場合は、その時点から 15 分後に電源が切れます。
- ・ スリープタイマー作動中は、オートパワーセーブは動きません。

## オートパワーセーブ(節電機能)を設定する

お買い上げ時には、オートパワーセーブはオンになっています。



(くり返し押す)

- ・ 押すたびにオンとオフが切り換わります。  
オートパワーセーブをオンにする : 「APS ON」を選んでください。  
オートパワーセーブをオフにする : 「APS OFF」を選んでください。

# 音質や表示の設定を変える

## 再生音質を高める(「K2」機能)

「K2」機能は、変質・劣化したデジタル音源の高周波数帯域、微小信号に拡張処理を施し、オリジナルマスターと同等(最大 192kHz、24bit)の復元を可能にします。CD スペックの音源はもちろん、圧縮音源やストリーミング音源も、原音に忠実なハイレゾ相当の高音質で楽しめます。



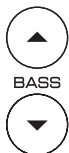
(くり返し押す)

- 押すたびにオンとオフが切り換わります。  
「K2」機能をオンにする：「K2 ON」を選んでください。  
「K2」機能をオフにする：「K2 OFF」を選んでください。

### お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- お買い上げ時の設定は「K2 ON」です。

## お好みの音質に設定する



(くり返し押す)



(くり返し押す)

- それぞれ以下の範囲で調節できます。

低音 : BASS -5 ~ BASS +5

高音 : TREBLE -5 ~ TREBLE +5

### お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

## 表示される情報を変える



(くり返し押す)

押すたびに各種の情報表示に切り換わります。

### お知らせ

- ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。
- USB メモリー内にある MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルの再生中は、ファイル名 → フォルダー名 → 曲名 → アーティスト名 → アルバム名の順番に切り換えることができます。
- 表示される文字は半角英数のみです。漢字などの文字は「\*」と表示されます。

## その他の情報

### 使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH Ver. 4.2 に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。
- すべての BLUETOOTH 機器再生を保証するものではありません。

### USB メモリーのご注意

- USB 端子には、USB メモリー以外の機器を接続しないでください。
- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- USB メモリーによっては、誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機では、ファイルやフォルダーを削除することはできません。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。

### MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのご注意

- 再生できる MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルは<.mp3>、<.wma>、<.wav> または<.flac>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオまたは MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルを再生できます。



## サンプリング周波数

オーディオファイル	サンプリング周波数
MP3	44.1 kHz / 48 kHz
WMA	44.1 kHz / 48 kHz
WAV	44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
FLAC	44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

## 転送レート

オーディオファイル	転送レート
MP3	32 kbps ~ 320 kbps
WMA	64 kbps ~ 160 kbps

## 量子化ビット数

オーディオファイル	量子化ビット数
WAV	16 bit, 24 bit
FLAC	16 bit, 24 bit

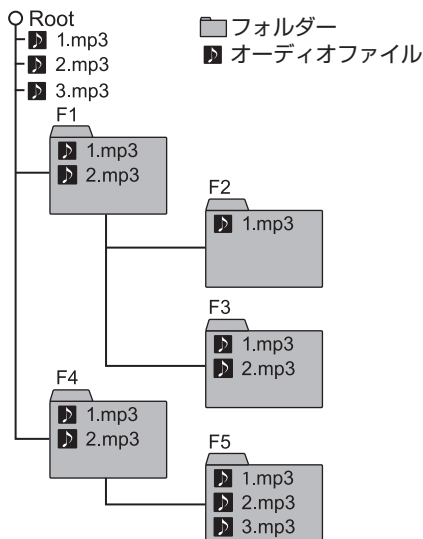
- 本機は USB メモリー 1 つあたり最大 256 のフォルダーおよび 5,000 のファイルを認識します。1 フォルダー内の最大ファイル数は 999 です。
- DRM (著作権保護) ファイルは表示されますが、再生されず、次の曲にスキップされます。
- VBR ファイルの早送り、早戻しには対応していません。また、正しく再生できない場合があります。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- ファイル名、タグ表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字は「\*」に置き換えて表示されます。
- 本機は、ID3 TAG VERSION 2 (曲名、アーティスト名、アルバム名)、ファイル名、フォルダー名を表示できます。(ただし半角英数字のみ)
- USB のファイル名/フォルダー名およびタグ表示(タイトル/アルバム/アーティスト名)の最大文字数は 30 文字です。

## ファイルの再生順について

オーディオファイルは、USB メモリーなどの Root(ルート)にあるものから再生されます。

本機がフォルダーやオーディオファイルを再生する順番は以下のとおりです。実際の再生順は、曲の記録された順番や、ファイルの削除・消去・追加・名前の変更などのファイル操作により、変わる場合があります。

### フォルダー構成例



### ファイルの再生順

- 1 曲目 : 1.mp3
- 2 曲目 : 2.mp3
- 3 曲目 : 3.mp3
- 4 曲目 : F1\_1.mp3
- 5 曲目 : F1\_2.mp3
- 6 曲目 : F2\_1.mp3
- 7 曲目 : F3\_1.mp3
- 8 曲目 : F3\_2.mp3
- 9 曲目 : F4\_1.mp3
- 10 曲目 : F4\_2.mp3
- 11 曲目 : F5\_1.mp3
- 12 曲目 : F5\_2.mp3
- 13 曲目 : F5\_3.mp3

### お知らせ

- もし曲順が変わってしまう場合は、パソコンで USB メモリー内の音楽をデスクトップにコピーし、曲名の先頭に「01・・・MP3」、「02・・・MP3」などの数字を付けてから、FAT32 形式でフォーマットした USB メモリーに書き込んでください。

## 商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark “iPhone” is used with a license from iPhone K.K.
- Microsoft, Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google LLC.の商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- “ウォークマン”は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- Mac OS, Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Qualcomm® aptX™audio は、Qualcomm Technologies International, Ltd. の製品です。  
Qualcomm® は、米国およびその他の国で登録されている Qualcomm Incorporated の商標であり、許可を得て使用しています。  
aptX™ は米国およびその他の国で登録されている Qualcomm Technologies International, Ltd. の商標であり、許可を得て使用しています。
- AAC は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

# 故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/>

から最新の FAQ(よくあるご質問)情報をご覧ください  
ことで解決できます。



カスタマーサポートセンターにご相談になる前にホームページや下記をチェックしてください。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあります。

**以下の処置をしても正しく動作しないときは本機をリセットしてください。**

本機を操作できない、表示部が誤表示されるなどの場合には、次の手順で本機をリセットしてください。

リセットすると、各種の設定内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。

- 1 ソース(音源)を「AUDIO IN」に切り換える**
- 2 本体前面の[▶/||] ボタンを 1 回押す**
- 3 本体上面の[⏻/⏻] ボタンを 3 秒以上押し続ける**  
「RESET」と表示され、自動的に電源が切れます。
- 4 本体から AC アダプターを取りはずす**
- 5 再度 AC アダプターを接続する**  
本機がリセットされ、お買い上げ時の状態となります。

## 共通

---

### 電源が入らない。

- 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- 電源コードをコンセントから抜いて、1分程度経ってから差し込みなおしてください。

### 突然電源が切れてしまう。

- オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(p. 53)
- スピーカーの配線がショートしていないか確認してください。

### 設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- 操作には時間制限がある場合があります。もう一度操作し直してください。

### リモコンで操作できない。

- リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていませんか。
- リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

### 音声が聴こえない。

- 音量が最小になっていませんか。
- 消音を解除してください。
- ヘッドホンははずしてください。
- スピーカーが正しく接続されているか確認してください。特に、スピーカーコードを被覆まで差し込んでいないか、確認してください。(p. 18)

## BLUETOOTH 機器

---

### BLUETOOTH 機器に接続できない。

- ➔ 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「A2DP」に対応しているか確認してください。
- ➔ NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。

### 本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「AVRCP」に対応しているか確認してください。

### 音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH が接続できる距離を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。
- ➔ 強い電磁波を発生するもの(電子レンジ・電磁調理器など)の近くに本機が置かれていると、雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して設置してください。

## USB メモリー

---

### 再生できない。

- ➔ USB メモリーを正しく接続してください。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。  
BLUETOOTH 接続(p. 26)または本機の AUDIO IN 端子に接続してください。(p. 42)
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、10 曲程度転送して再生できるかお試しください。改善しない場合は、USB メモリーを交換してください。

### MP3/WMA のフォルダーやトラックが意図したように再生できない。

- ➔ 本機は USB メモリーに音楽ファイルが記録されている順番に再生します。USB メモリー内のファイル操作(削除、追加、移動、名前の変更など)を繰り返すことにより、順番が入れ替わることがあります。その場合は、パソコンで USB メモリーをフォーマットした後に再度転送してください。

### USB メモリーの音声途切れる。

- ➔ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直してください。
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、MP3/WMA/WAV/FLAC ファイルを転送して再生できるかお試しください。

## 外部機器

---

### 外部機器の音声が聴こえない。

- 外部機器を正しく接続してください。(p. 42)
- ソース(音源)が「AUDIO IN」になっているか確認してください。
- 外部機器の音量を確認してください。

## パソコン

---

### 本機が認識されない。

- マイクロ USB ケーブルで本機とパソコンを正しく接続してください。(p. 44)  
改善しない場合は、マイクロ USB ケーブルを交換してください(充電専用の USB ケーブルの場合は、パソコンに認識されません)。
- USB ハブを使って接続する場合は、ハブが正しく動作していることを確認してください。または接続するポートを変更してください。改善しない場合は、ハブから取りはずして、直接パソコンの USB 端子に接続してください。

### 音声が聴こえない。または音量が小さい。

- パソコンの設定をしてください。(p. 44)

### 音が途切れる。

- 音声出力中、CPU に負担がかかる作業をしているときは、音が途切れることがあります。CPU に負担のかかる作業は控えてください。
- 音声出力中に他の USB ケーブルの抜き差しをすると、音が途切れることがあります。音声の再生中に、他の機器の USB ケーブルを抜き差ししないでください。

## その他

---

### 不自然な音になっている。

- スピーカーの極性(+,-)を間違えて配線すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。配線を確認してください。(p. 18)

# 主な仕様

## アンプ部

実用最大出力: 10 W + 10 W (JEITA\* 4 Ω)

## 入出力端子

USB ホスト: 出力: DC 5 V  1 A  
仕様: USB2.0 ハイスピード  
対応機器: USB マスストレージクラス  
デバイス  
ファイルシステム: FAT16 / FAT32  
対応ファイル形式: MP3 / WMA / FLAC / WAV

PC IN:  
(micro USB B) USB Audio Class 2.0  
対応サンプリング周波数: 最大 192 kHz  
対応ビット数: 最大 24 ビット

AUDIO IN: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1  
DIGITAL IN: OPTICAL 入力端子 (角型光端子) x 1  
PHONES: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

## BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 4.2  
送信出力: Class 1  
最大通信距離: 見通し距離約 10 m  
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯  
対応 BLUETOOTH  
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)  
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)  
対応コーデック: SBC / AAC / aptX  
対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式  
NFC 接続: 対応



## 共通部

電源:	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力:	15 W(定格消費電力) 1.0 W 以下 (BLUETOOTH スタンバイモード時) 0.4 W 以下 (ノーマルスタンバイモード時)
最大外形寸法:	幅 117 mm × 高さ 53 mm × 奥行き 179 mm
質量:	700 g

\*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。  
本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。  
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<メモ>

<メモ>

# 保証とアフターサービス

## 1. 保証について

- 保証期間—お買い上げの日より1年間です。  
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

## 2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

## 3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4. 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
  - 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
  - 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
  - 修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
- ① 技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
  - ② 部品代 : 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
  - ③ 出張料 : 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
  - ④ 送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

## 6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

# 無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはJVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

## 5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

- ① 保証書のご提示のない場合。
- ② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- ③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
- ④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- ⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
- ⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- ⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等）
- ⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。
- ⑨ 消耗部品（例えば回転機器のベルト、乾電池、充電機、イヤークリップ等）の交換。
- ⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

## 6. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて不明の場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

### JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

■ 商品や修理（アフターサービス）に関するお問い合わせは、  
JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

固定電話からのご利用はフリーダイヤル：0120-2727-87

携帯電話・PHSからのご利用はナビダイヤル：0570-010-114

一部IP電話からのご利用は：045-450-8950

受付時間：月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

# 保証書

持込修理用  
(日本国内専用)

品名	インテグレートッド アンプリファイア	型名	KA-NA9
保証対象	本体	保証期間	(お買い上げ日より) 1年間
※お買い上げ日	年 月 日		
※お客様	お名前 ご住所 電話番号		
※販売店	店名 住所 電話番号 ( )		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

**お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。**

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッド カスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

## KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12